俳句を味わう (1)

A　バスを待ち大路の春をうたがはず　石田波郷

B　ちるさくら海あをければ海へちる　高屋窓秋

C　萬緑の中や吾子の歯生え初むる　中村草田男

D　山越える山のかたちの夏帽子　桂　信子

確認テスト　俳句を読んで、問いに答えなさい。

(1) **C**の句の季語と季節を答えなさい。

季語［　　　］　季節［　　　］

(2) **C**の句に含まれる切れ字を書きぬき、句切れの種類を**ア**～**ウ**で答えなさい。

ア　初句切れ　**イ**　二句切れ　**ウ**　中間切れ

切れ字［　　　］　句切れ［　　　］

(3) **D**の句で用いられている表現技法として、適当なものを選びなさい。

ア　体言止め　**イ**　対句　**ウ**　直喩

［　　　］

(4) 次の①～④は、それぞれ**A**～**D**のどの句について述べたものか。記号で答えなさい。

① 山を越え行く人の帽子が山の姿と重なるように描かれている。
② 日常の中ではっきりと感じた季節の変化が捉えられている。
③ 海の色と対照的な花びらの色あいが鮮やかに感じられる。
④ 草木の生命力と我が子の姿が呼応するように捉えられている。

①［　　　］　②［　　　］　③［　　　］　④［　　　］